

択捉焼山の火山活動解説資料（平成24年8月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

択捉焼山で噴火が発生し、海拔約4000mの高さの噴煙が気象衛星で観測されました。

○ 活動概況（図1～3、表1）

択捉焼山（標高1158m）で噴火が発生、25日07時00分の気象衛星（MTSAT-2）画像で噴煙を観測し、08時00分の衛星画像では海拔約4000mの高さに達しました。これに伴い、気象庁東京航空路火山灰情報センターは25日10時06分に航空路火山灰情報¹⁾を発表しました。その後、気象衛星画像で噴煙は観測されていません。

択捉島を訪れていた北海道大学によると、噴火活動は15日から始まったと考えられ、25～26日の2日間で合わせて4回の噴火が確認されました。このうち1回（図1右）は噴煙が海拔約4000～5000mの高さにまで達しています。



図1※ 択捉焼山 噴火時の状況（北海道大学の観測による）

（左：25日14時54分北北西側から撮影、右：26日18時04分北側から撮影）

- 1) 航空路火山灰情報は、航空機の安全運航のために発表している情報です。世界9か所に情報提供を行なうセンターが設置されており、東京センターでは東アジア及び北西太平洋領域を担当しています。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

※ 資料は気象庁のほか、北海道大学のデータも利用して作成しています。

表 1 択捉焼山 記録に残る火山活動

発生年月	主な現象
1968 (昭和43) 年2月	噴火。
1970 (昭和45) 年	噴火。
1973 (昭和48) 年1月初旬	噴火：山頂火口で小爆発。
1973 (昭和48) 年5月16日	噴火：山頂火口で一連の強い爆発。大きな火口形成。
1989 (平成元) 年5月3～14日、 6月19日、8月上旬	噴火：爆発、噴煙高度2000m。

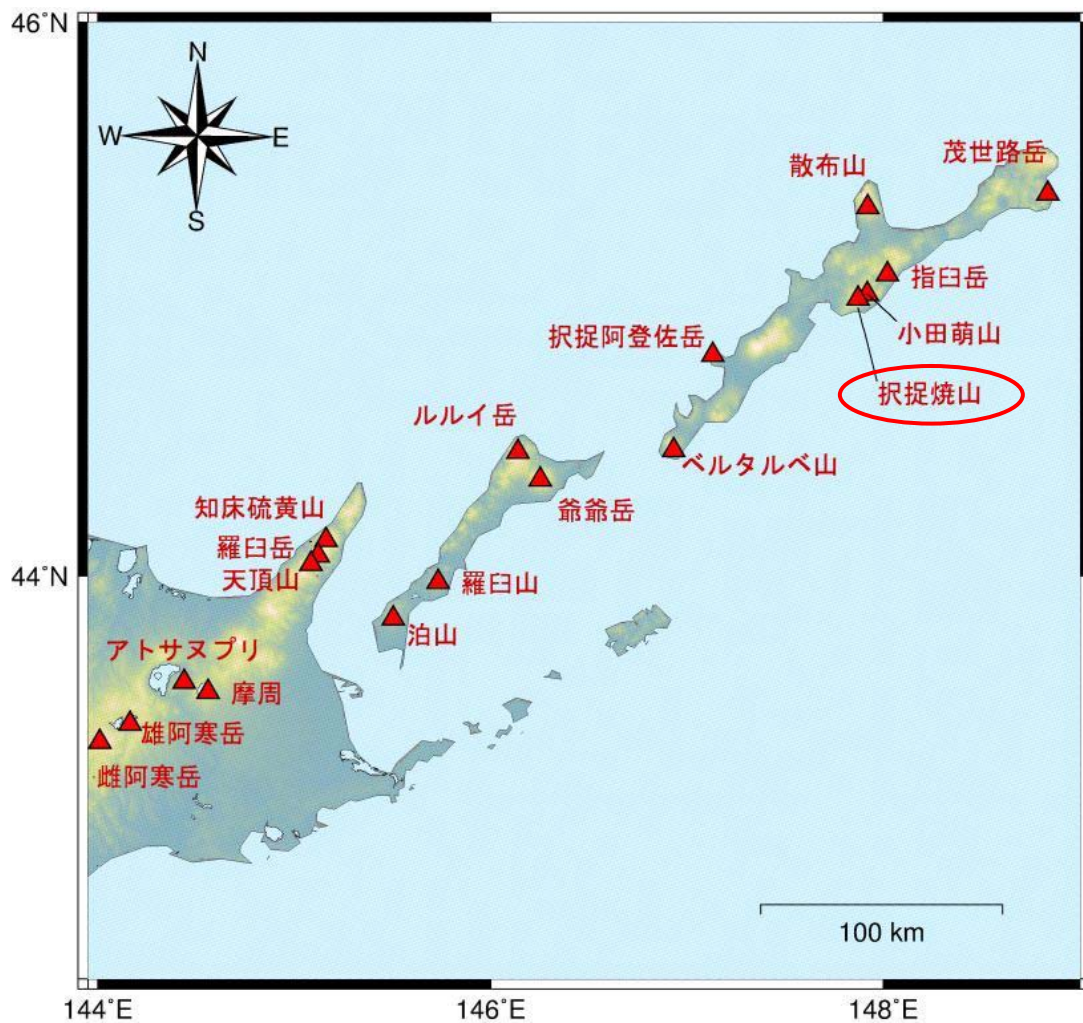


図 2 択捉焼山の位置

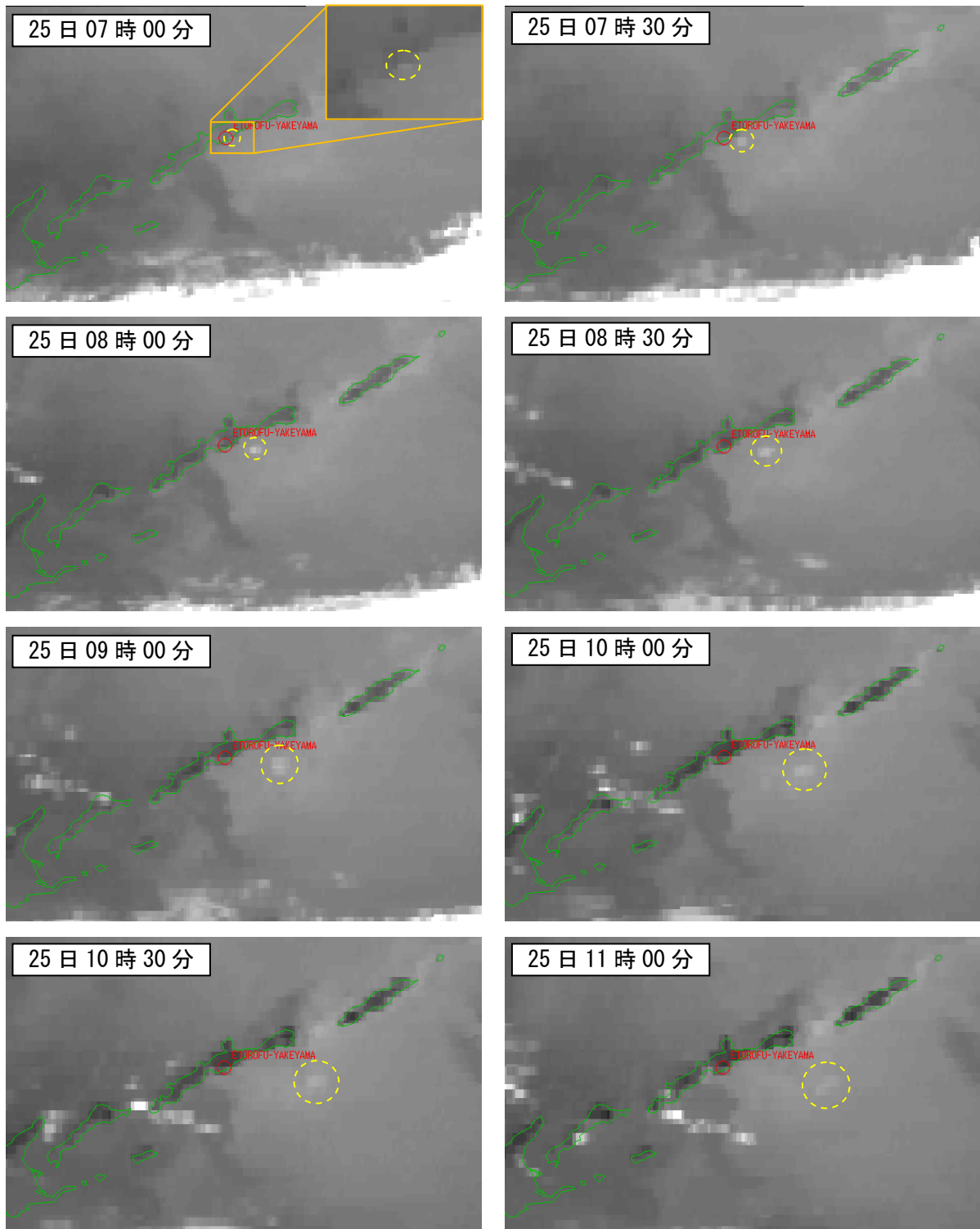


図3 択捉焼山 25日に気象衛星画像で観測された噴煙（火山灰）
（気象衛星（MTSAT-2）画像はすべて赤外画像²⁾。赤色の○印は択捉焼山。黄色の点線領域は噴煙。）

2) 雲から放射される赤外線をとらえた画像です。
・温度の低い（雲頂高度の高い）雲は白く写ります。